

脊椎の手術(13 日間)を受けられる

説明医師

P 1 / 3

様へ

説明看護師(外来)

看護師(病棟)

月日	月 日～ 月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
経過	入院日～手術前日	手術当日	術後 1 日目	2 日目	3 日目
目標	心身ともに安定した状態で手術を受けることができる			歩行ができる	
検査	手術に必要な検査は終わっています		 血液検査と尿検査があります		 血液検査があります
食事	手術前日の 21 時以降は飲食できません (手術までに食事練習)	飲食できません	朝より食事が始まります		
	朝食は 自宅  	  	  	  	  
処置・観察	リストバンドを装着します コルセットの採型 □外来で済み □作成中のものを使用 □入院後の作成 腰痛アンケートに教えてください  手術部位のマーキングをします  体温・脈拍・血圧 酸素飽和度を測ります	手術後翌朝まで酸素吸入をします 	機能評価を行います 疼痛の自己評価を行います(退院まで) 	尿の管を取ります ドレーンを取ります (状態により早くなる場合があります) 	創管理開始 (火・木曜日) 
点滴・内服	 持参薬、お薬手帳を看護師にお渡しください	 手術が午後の場合は点滴を行います 手術後、翌朝まで点滴を3本行います	抗生物質の点滴を朝1本行います   鎮痛剤の内服が始まります		
行動	体位を変える練習をします  制限はありません  シャワーします	看護師の介助で寝返りできます  ベッド上で安静にしてください  手術後尿の管が入っています	 ベッド上で座れます 体を拭いて着替えをします (タオルが2枚必要です)  リハビリが始まります	室内トイレが利用できます   歩行器を使って歩行を開始します(病棟内)	
説明	 医師より説明・手術について  麻酔医より説明・麻酔について  看護師より説明・入院生活について  薬剤師より説明・持参薬確認・内服薬について	 医師よりご家族に説明・手術結果について	 医師より本人に説明・手術結果について		

* 入院に際して、この用紙を必ずお持ちください

P 2 / 3

* 入院時に栄養状態を評価して栄養管理計画を立てます。定期的に栄養状態の再評価を行い計画を見直します。

* この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により、予定通りではないこともあります。

月日	月 日	月 日～ 月 日	月 日	～ 月 日	月 日
経過	4 日目	5 ～ 6 日目	術後 1 週目 (7 日目)	～ 1 0 日目	1 1 日目午前退院
目 標	歩行ができる				日常生活の注意点が 理解でき実施できる
検 査			血液検査とレントゲン 検査があります  	 血液検査が あります	
食 事	  	  	  	  	朝食後に退院です   
処 置・ 観 察	創管理 (火・木曜日) ガーゼをとります  体温・脈拍・血圧 酸素飽和度を 測ります	(特に必要のある以外は抜糸処置はありません) 機能評価(知覚検査)を 行います			退院時にリストバン ドを外します
点 滴・ 内 服	 鎮痛剤の内服が あります			 手術後 2 週間で 内服薬は中止です	
行 動	 シャワーが できます  歩行器を使って 歩行をします (病棟内)		 		
説 明			 医師より説明 ・ 検査結果に ついて	 看護師より説明 ・ 日常生活に ついて	 医師より説明 ・ 退院後の 診察について  看護師より説明 ・ 退院後に ついて 次回受診予約日 月 日

手術後の傷の痛みを教えてください

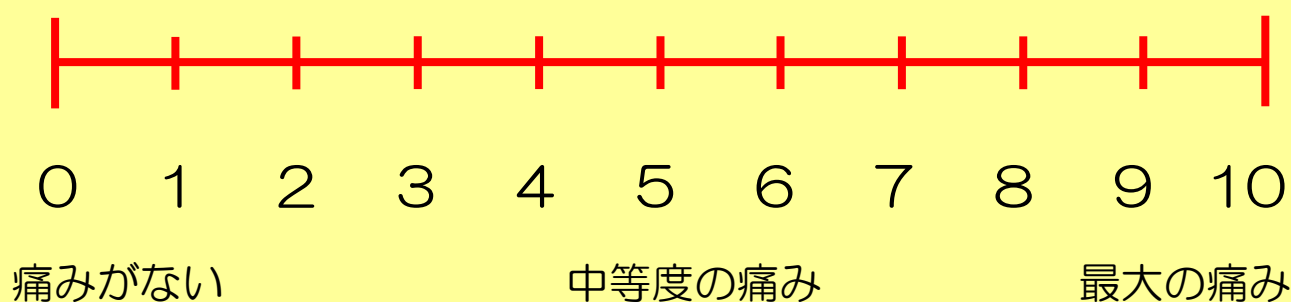
講習を受けた麻酔科医・看護師・薬剤師・臨床工学士で構成された術後疼痛管理チーム（APS）チームが、患者さんの傷の痛みに対して、手術前から計画を立て、傷の痛みが軽減するよう取り組んでまいります。

実際の傷の痛みに対して、NRS(Numerical Rating Scale)：痛みの評価スケールを使用します。0 から 10 までの 11 段階です。



手術後、どの程度の痛みかを数値で教えてください

10 を最大の痛みとした場合
今の痛みはどのあたりですか



APS チームがサポートします。

よろしくお願いします。

